第2学年普通科 保健体育科学習指導案

令 和 7 年 1 1 月　7 日（ 金 ）
第 2 学 年　フロンティア科　38名
場　所　県立延岡星雲高等学校 体育館
指 導 者　加　藤　順　也

1　単元名 保健「健康を支える環境づくり」（保健・医療制度及び地域の保健・医療機関）

2　単元の目標

（1）　我が国の保健・医療制度、地域の保健・医療機関の活用、医薬品の制度とその活用について、理解することができるようにする。

（知識）

（2）　医薬品の制度とその活用に関わる情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な整備や活用方法を選択し，それらを説明することができるようにする。

（思考力，判断力，表現力等）

（3）　我が国の保健・医療制度、地域の保健・医療機関の活用、医薬品の制度とその活用について、自他や社会の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

（学びに向かう力，人間性等）

3　単元について

（1）教材観

本単元は、「高等学校学習指導要領 保健体育編」の「科目保健（4）健康を支える環境づくり」である。本単元の内容は、「（4）健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。（ア）健康を支える環境づくりについて理解を深めること。（イ）健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること」とある。このため、わが国には保健・医療制度があり、行政などが健康情報、医療供給、医療費保障を含む保健・医療サービスを提供していること、健康の保持増進には、検診などを通じて健康課題を把握し、地域の保健・医療機関やサービスを適切に活用する必要があること、医薬品は医療用、要指導、一般用の三つに大別され、承認制度で有効性・安全性が審査され販売規制があることや、疾病からの回復・悪化防止には、医薬品の特性を理解し、用法・用量を守って正しく使うことが重要であることなどを中心に構成されている。

（2）生徒観

本学級の生徒は、全体的に落ち着きがあり、日々の授業に意欲的に取り組めている。健康を支える環境づくりの学習では、ICT や思考ツールを積極的に活用した調べ学習を通じて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を進めてきた。

活発な生徒が多く、ペア学習では意見交換などを積極的に行える生徒が多数見られるが、一部にはこうした活動を苦手とする生徒もいるため、今後はグループ活動などを通して、全ての生徒が積極的に意見を交換できるようにしていきたい。

（３）学習を進めるに当たって

健康の保持増進には，個人の力だけではなく，個人を取り巻く自然環境や社会の制度，活動などが深く関わっている。本時においては、医薬品には承認制度や販売規則がある理由など事例を参考に考えさせ理解させたい。また、生活の質の向上のためには、医薬品を正しく利用しなければならないことを思考ツールや ICT を活用して表現できるよう工夫していきたい。

４　単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
単元の評価規準	① 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関，及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③ 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることや、疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	① 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。	① 健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

5　指導と評価の計画

時間	１校時	２校時	３校時	４校時	５校時	６校時
主な学習内容・学習活動	保健サービスとその活用① ○人々の健康を支えるための保険・医療制度が存在していること。 １保健行政の役割と活動について学ぶ。 ２生涯を通じたさまざまな保健サービスについて思考ツールを活用して整理する。 ３整理した情報を伝え、成果を共有する。 ４保健サービスの活用方法について学ぶ。 ５本日の知識理解テストを Google フォームでおこなう。	保健サービスとその活用② ○健康の保持増進のためには受けられる保健サービスを知ることが重要であること。 １前時を振り返る。 ２地域で行われている保健サービスの内容について調べ Canva のスライドにまとめる。 ２調べて得た情報を伝え、成果を共有する。 ３地域や自治体によって受けられる保健サービスを理解する。	医療サービスとその活用① ○医療サービスを適切に活用するには医療保険の仕組みについて知ることが重要であること。 １医療の供給について学ぶ。 ２医療保険の仕組みについて思考ツールを活用して整理する。 ３整理した情報を伝え、成果を共有する。 ４医療機関と医療サービスの活用について学ぶ。 ５本日の知識理解テストを Google フォームでおこなう。	医療サービスとその活用② ○医療機関にかかる際には医療機関や医療サービスについて知ることが重要であること。 １前時を振り返る。 ２医療機関のかかり方について考える。 ３医療機関を選ぶ条件を Canva のホワイトボードにまとめる。 ４まとめた内容を伝え共有する。 ５医療機関を選ぶ際には医療情報ネットが参考になることを理解する。	医薬品の制度とその活用① ○医薬品には販売規則があり、安全性を守る取り組みには承認制度があること。 １医薬品の販売規則について学ぶ。 ２主作用、副作用、薬害について理解する。 ３安全な医薬品を市場に出すための取り組みを理解する。 ４医薬品の正しい使用方法を理解する。 ５医薬品の空箱を使って使用方法などをまとめる。 ６本日の知識理解テストを Google フォームでおこなう。	医薬品の制度とその活用② ○生活の質を向上させるための医薬品の利用方法を知るには販売規則を理解する必要があること。 １データチャートを活用し前時の振り返りをおこなう。 ２承認制度や販売規則がある理由について考える。 ３ 班でキャンディチャートを完成させ、発表する。 ３販売規則がある理由についてデータチャートを活用して理解する。 ４承認制度がある理由について理解する。 ５効果的な薬品の活用の仕方について考えたことを書き出す。
評価機会・評価方法						
知	①小テスト タブレット		②小テスト タブレット		③小テスト タブレット	
思						①ワークシート
態						①観察

関連する項目	
科目体育や他教科との関連	薬物乱用防止教室

6　本時の学習

（１）本時の目標

○　医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理できるようにする。

（思考力,判断力,表現力等）

（２）本時の学習評価

○　医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。

（思考・判断・表現）

7　学習指導過程（６／６時間）　：ねらい　：発問・指示など

段階	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入8分	1 本時の学習評価とねらいを確認する。	○本時の学習の流れ、評価事項を伝える
	医薬品に承認制度や販売規則が設けてある理由について理解し、効果的な医薬品の利用の仕方について考え、整理した内容を表現しよう	
	2 前時の振り返り ・個人でワークシートのデータチャートを完成させる。 ・順番を決め、班内で発表し、知識を定着させる。 ・何人かに発表させる。 ・販売規則、承認制度について振り返る	○本時は前時で学んだ内容を更に深める時間であることを伝える。
展開40分	3 医薬品に販売規則や承認制度がある理由を考える。	
	医薬品に販売規制や、承認制度がなくなったらどんな世の中になるか考えてみよう	
	・班でお題に対して班で話し合い、Canva のキャンディチャートを完成させる。 ・キャンディチャートを見せながら全体で発表する。 ・別の班の発表を聞いて気づいたことを学習プリントに記入させる。	○他の班の発表と比較し、新たな発見に着目させ考えを深めさせる。
	4 医薬品に販売規則がある理由について ・教師の説明を聞きながらワークシートのデータチャートを完成させる。 ・医薬品に販売規則がある理由について理解する。 5 医薬品に承認制度がある理由について ・サリドマイド薬害から承認制度の重要性を理解する。	◆思考・判断・表現（ワークシート） 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。
まとめ7分	6 効果的な医薬品の利用の仕方について考えたことを書き出そう。 ・個人で考え書き出す。 ・班で共有する。 7 次時の予告を聞き、学習の見通しをもつ。	◆思考・判断・表現（ワークシート） 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。